



中丹

農業改良

第29号

# 普及センターだより



福知山市大江山町農事組合法人鬼の里農園におけるタマネギの収穫

## 京都府中丹広域振興局 農林商工部

### 中丹東農業改良普及センター

〒623-0012 綾部市川糸町丁畠10-2

TEL.0773-42-2255

e-mail:chushin-no-higashi-nokai@pref.kyoto.lg.jp

### 中丹西農業改良普及センター

〒620-0055 福知山市篠尾新町1-91

TEL.0773-22-4901

e-mail:chushin-no-nishi-nokai@pref.kyoto.lg.jp

発行

2020年  
(令和2年)

“築いていこう 差別のない 明るい社会”



# 中丹地域で取組む普及活動の重点課題

中丹東・西普及センターは、平成30年度から3年かけて、次の4課題に取り組んでいます。

## 1 水田作物生産への支援

中丹地域は農地の87%が水田ですが、平成30年度から国の水田政策が変わり、需要に応じた水田農業が、より求められるようになりました。

そこで普及センターでは、

- ① 主食用米
- ② 酒造用原料米「京の輝き」
- ③ 小豆

の3点で、取組みを進めました。

① 主食用米では、おいしい米づくりの勉強会を開催するとともに、食味のコンテストや販促イベントなど、PR活動を支援しています。

② 酒造用原料米「京の輝き」では、現地ほ場において研修会を開催し、実需者の要望に応じた収量確保を目指しています。

③ 小豆では、排水対策の徹底の呼びかけや、新たな雑草対策など、高い需要に応えられる収量確保に向けた支援を行っています。



「京の輝き」研修会でのほ場見学



京都市内での販促イベント



小豆の除草剤試験



おいしいお米勉強会

## 2 万願寺甘とう栽培への支援

「万願寺甘とう」は中丹地域の代表的なブランド京野菜として、生産者とともにJAをはじめとする関係機関が、生産量や品質の向上に取り組んでいます。

普及センターでは、「万とうゼミ」を開催し、1ターン就農者や定年帰農者等、新規参入者の技術や経営の向上を支援しています。また近年、大きな課題となっている土壌病害研修会を開催し、対策を推進しています。



「万とうゼミ」での市場見学



「万とうゼミ」現地互見会



土壌病害研修会





### 3 担い手への支援

農業の担い手の減少が著しい中丹地域では、担い手の確保と定着が課題です。

平成30年度からの3年計画では、①中丹地域を就農地としてアピールするための営農類型の策定、②基礎知識の習得による新規就農者の定着促進、③農福連携による多様な担い手の発掘と確保に取り組んでいます。

①では、中丹地域を代表する栽培品目を組み合わせた営農類型を策定し、就農希望者との相談時に活用することで、具体的な就農イメージを持ってもらいます。

また②では、新規就農者等を対象に、農業に必要知識を習得してもらうため、農業基礎講座を開催しています。

そして③では、農福連携の推進のため、農業と福祉の相互理解が円滑に進むような現地検討会や現地見学会を実施しています。



農業基礎講座 獣害柵設置実習



農業基礎講座 先輩農家訪問



福祉事業者が農作業を見学



農福連携 現地検討会を開催

### 4 地域活性化への支援

中丹地域では、「万願寺甘とう」の生産で生じる、規格外品に付加価値をつけるため、加工品の開発にも力を入れています。そこで、普及センターでは、規格外品を活用した加工品を試食するフェアを、綾部市内2か所の直売所で開催し、多くの人で賑わいました。

また、農業者等が持っている農産物の加工技術に興味を持ち、体験したいと思う消費者が多くいます。そこで、いつ、どのような体験ができるかをまとめた、「綾部で楽しむ『食』の体験カレンダー」を作成し、直売所などで配布しました。



「万願寺とうがらし」加工品フェアを開催



アンケートにより消費者ニーズを把握



「食」の体験カレンダー



新しい商品開発を支援



様々な角度から

頑張る方々を紹介



綾部市  
山本 哲也さん

経営概要  
ミニトマト…… 1a  
万願寺甘とう……15a  
(ハウス2棟、露地9a)  
えびいも…… 5a  
花菜…… 50a  
葉菜類…… 7a

綾部市上八田町で万願寺甘とうを中心とした野菜栽培に取り組む山本哲也さん。農業大学校を卒業後、平成28年から府の担い手養成実践農場（準備型）で2年間の研修を積みました。

山本さんはもともと、将来的に農業がしたいという思いが強く、上八田町での就農を決意。研修を通じ、地域に溶け込んで得た地域との継続的なつながりが、現在の経営にも役立っています。

今後は、農作物を作って売るだけでなく、先輩農家が大切にしてきた万願寺甘とうやえびいも等を育む地域の農業を、気軽に消費者に知ってもらえる観光農園を作ることを目標に、日々農作業に頑張っています。

担い手養成実践農場研修修了者に聞く  
〈就農準備型〉



青年農業士 綾部市 西山 和人さん

西山さんは、平成24年に「株式会社 丹波西山」を設立して7年が経ち、取締役である弟と2人の社員とともに頑張っています。現在では24haの水稲を主力に、中丹地域の特産品である万願寺甘とうや小豆を栽培しています。

特に水稲は、会社の「安心・安全」へのこだわりを表明するため有機栽培（有機JAS認定取得）にも取り組んでいます。

今後は、有機栽培のノウハウを生かした栽培を拡げながら、人とのつながりを大切に、「おいしさ、安心」を消費者に届けていくと語っています。

地域で活躍する農業士

## 「京力農場プラン」ではばたく地域

下東地区は舞鶴市西部の由良川右岸に位置しており、川沿いに広がる約16haの農地で、水稲を中心とした栽培が行われています。地元営農組合を母体として、平成28年1月に設立された（株）下東農産は、水稲栽培を主として、地域特産物である万願寺甘とうやそばの栽培を行っています。

今年度は普及センターとともに「京の輝き」の省力的追肥の試験を行うなど、新しい技術導入にも積極的です。また、台風による水害を回避できる作物として、加工用ばれいしょの栽培にも取り組むなど、法人経営の基盤づくりに努めています。「これまで地域一丸となって農地を守ってきており、これからも地域の皆さんの協力を得ながら法人経営を行っていききたい」と意欲的に活動しています。

### 舞鶴市 株式会社 下東農産

水稲	コシヒカリ…… 70a	万願寺甘とう…… 2.3a
	特栽米…… 420a	加工用ばれいしょ…… 63a
	京の輝き…… 260a	そば…… 90a
	五百万石…… 140a	



幼稚園児の芋掘り体験などで地域に貢献



頑張る!

# 若手・新規就農者

福知山市

まつゆき あきら  
松行 輝さん

経営概要

万願寺

甘とう …… 8a



京都市山科区で大工を経験後、大工の仕事が自分に合わないと考え、自分のペースで働ける農業を選びました。そして3か月間の農業大学校での短期研修と2年間の研修を経て、平成28年に福知山市三和町で新規就農しました。

現在、就農して4年目ですが、丁寧なほ場管理と栽培管理を行い、万願寺甘とうの単収は中丹地域でトップクラスです。

しかし、松行さんはそれに満足せず、更なる万願寺甘とうの品質向上と収量アップを目標に、日々向上心を持ちながら栽培に努めています。万願寺甘とうの担い手として、これからの活躍が大いに期待されます。



舞鶴市

武田 敏和さん

経営概要

万願寺

甘とう …… 6.8a

トマト …… 7.5a

イチゴ …… 7.5a



大阪でサラリーマン勤務をしていた武田さんは、次第に人間の命の根源である食べ物を育て、作ることができる農業という仕事に、憧れを持つようになりました。そこで同じ思いを持つ奥さんと話し合いの末、縁あって舞鶴市で就農し、家族経営を行っています。

舞鶴市での研修を通じ、「舞鶴発祥の万願寺甘とう」、「本当にうまいトマト」、「子供からお年寄りまでが笑顔になるいちご」を栽培し、多くの人に食べてもらうために、日々農作業に励んでいます。

平成29年に発生した雪害や台風で所有していたハウスが被災したり、土壌病害に悩まされましたが、ハウスの再建を進めながら土壌病害に遭わない技術を取り入れるなど、毎年安定した収益が得られるよう工夫しています。

## GAPシリーズ③「農薬の管理・使用について」

農薬の取扱いについては細心の注意を払いましょう。ポイントは、①「漏出や紛失のないしっかりした保管」、②「化学農薬を最低水準に抑えるIPM(総合防除)の実践」、③「散布作業者の安全確保」の3点です。

## 福知山市農村女性協議会さんのお料理レシピ!

### <材料>

ねぎ …… 400g  
いか …… 150g  
みそ …… 大さじ1  
砂糖 …… 大さじ2  
酢 …… 大さじ1  
ごま …… 大さじ2

### <作り方>

- ①ねぎは3cm程に切り、熱湯でさっとゆで、ざるに上げて冷ます。
- ②いかは熱湯でさっとゆで、ねぎと同じように3cm程の千切りにする。
- ③すり鉢に炒ったごまを入れてよく練り、みそ、砂糖、酢を加えてよく混ぜ、ねぎ、いかを加えて和える。

寒さでねぎがおいしくなる  
季節にぴったり!



『ねぎのでっぼう和え』



## 「丹波は一つ」丹波地域の農業士等が集まり、交流を図る

兵庫県・京都府の丹波地域の農業士等が、昨年11月に福知山市内に集まり、現地視察やこれからの農業士活動の進め方などについて意見交換を行い、交流を図りました。

この交流会は各地域の普及センターが事務局となっており、2年に1回持ち回りで開催しています。今回は中丹東・西普及センターが事務局となり、関係機関を含め約50名の参加の下、大盛況の交流会となりました。



現地視察(福知山市三和町)

## 「園芸用ハウス対策マニュアル」を作成しました!

近年、大きな被害をもたらす強い勢力の台風が増えています。パイプハウスが台風によって倒壊し、経営に大きな損害が発生しています。

そこで、京都府では平成31年3月に「園芸用ハウス台風対策マニュアル」を作成しました。このマニュアルでは、パイプハウスが耐える風速の目安や、パイプハウスの補強ポイント、台風対策のチェックリストなどを掲載しています。

このマニュアルや雪害対策の技術情報については、普及センターまでお問い合わせください。



## 獣害と戦う地域の取組み ～舞鶴市与保呂地区～

「株式会社よほろファーム」は、舞鶴の与保呂・木ノ下・常の3集落にまたがる、約25haの土地利用型作物・農作業受託を行っている法人です。日々、獣害や雑草などと戦いつつ、集落の土地を守っています。

普及センターは法人への支援として、水稻や小豆の獣害や雑草・排水対策、および担い手不足に焦点を当て、法人の役員とともに獣害フェンスの点検や、小豆の栽培講習会を行うなどの支援を行いました。

## ～福知山農業×商業×高校フェア～ を開催

高島屋京都店において、祇園祭期間中の昨年7月17日～23日に、福知山の農家、洋菓子・飲食店、高校生がコラボした商品を販売するイベントが開催され、普及センターは、販売促進を手伝いました。

当日は「ふくちやま福祉会あまづキッチン」が市内の農産物を使用して製造したアイスを、大江高校の生徒がパッケージデザインした「収穫の京アイス」として販売し、多くの来客者が足を止め、販売員の説明を聞いていました。



高島屋での  
販売促進



獣害柵の位置を地図で確認



獣害柵の被害状況を役員と確認



## 農事組合法人鬼の里農園による タマネギの機械化栽培



福知山市大江町、農事組合法人鬼の里農園のほ場は、由良川流域の水害常襲地に位置しています。タマネギは台風や豪雨が頻発する前の6月に収穫できることから、水害のリスクを避けられる品目として、平成28年度から栽培を行っています。

しかし、タマネギは出荷できない小玉の規格外品が一定の割合で発生します。このため鬼の里農園では、市内スーパーの店頭販売や福祉施設が加工するコロッケ用の原料などとして、規格外品の販路拡大に努めています。



スーパー店頭での詰め放題販売



タマネギをコロッケに加工



## 「スマート農業」って？

「スマート農業」とは、ロボット技術やICT(情報通信技術)、人工知能(AI)等の先端技術を活用し、省力化や生産物の品質向上を可能にする新しい農業技術です。

例えば、自動走行するロボット農機、水管理の自動化、ドローン等による栽培管理技術、作業・経営管理を支援するアプリケーションなどが挙げられます。現在、日本の農業は農業従事者の高齢化・後継者不足に伴う労働力不足をはじめ、耕作放棄地の増加や食料自給率の低下など、様々な問題を抱えています。そのひとつの解決策として、スマート農業による省力化に期待が寄せられており、徐々に現場への導入が始まっています。



農業用ドローン

## 「小さな経営革新チャレンジ 支援事業」に取り組んで ～作業通路幅を確保し、作業効率アップ!～

綾部市 高橋 孝明さん

綾部市西坂町の高橋孝明さんは、万願寺甘とうの収穫作業効率を上げる目的で、府の「小さな経営革新チャレンジ支援事業」を活用し、あぜシートを写真のように土留めに使って、作業通路幅を拡げました。

通路幅が広がったことで収穫台車の移動がスムーズになり、収穫効率のアップにつながっています。





# 普及センター掲示板

## 新しい農業士さんです

後継者の育成等  
よろしくお祈りします!

福知山市 岡本 晴樹さん

水稲中心の経営ですがキュウリも栽培しています。施肥や水管理など栽培管理を徹底し、合理化を図っています。地域の草刈り、水路補修などには積極的に参加し、地域の水田農業を引っ張っていきたいです。



福知山市 小林 伸輔さん

株式会社小林ふあ〜むで水稲を栽培し、スマート農業による省力化に取り組んでいます。ビジネス面では、米に付加価値を付けるため、通販もしています。また、農地、水路等の維持にも取り組んでおり、地域の農業を守っていきたくと思っています。



福知山市 小林 加奈子さん

株式会社小林ふあ〜むの代表としてトマト生産とジュース販売に力を入れています。フランチャイズ制を導入し、周辺農家のトマト栽培や経営の支援もしています。また、京の農林女子メンバーとして、女性の就農や意識改革のサポートも積極的に行いたいです。



福知山市 夜久 乾太さん

有限会社夜久野育種農場の代表として野菜の品種改良を中心に、播種事業、種苗生産・販売事業で経営しています。通常の青果物出荷用の栽培とは違う農業技術を伝えることができると考えています。



綾部市 居相 雅代さん

今は新しい農業経営に向けて模索している段階ですが、魅力ある農業ができる地域づくりに向けて、新しい担い手の方々と共に地域農業の発展に貢献していけたらと思います。



綾部市 福井 泰子さん

今のところは日々の農作業をこなすことに精一杯の状態ですが、望んでいるイメージは「農家」というよりは「百の仕事ができる「百姓」を目指し、スキルアップを行いたいと思います。



舞鶴市 瀧本 武士さん

地元を離れようと考えている子や帰ってきた子達が、「農業ってどんな感じだろう」と少しでも興味を持てるように、農業の良さが伝えられたらと思います。



お世話になりました。

退任される  
農業士さん

福知山市  
植田 孝太郎さん

## 第3回「京のプレミアム米コンテスト」 入賞おめでとうございます!

最高金賞 西原 孝史さん(福知山市)

入賞 酒井 行雄さん(綾部市 綾部こだわりコシヒカリ部会)

## 伝承技能登録、 新たに6名が登録へ

中丹管内の農業分野で新たに6名の方の技能が登録されました。今後、次世代への伝承活動も含め、さらなる活躍を期待いたします。

名前	技術の名称
足立 安夫さん	肉用牛飼育(繁殖)
増茂 義郎さん	茶栽培と製茶
山崎 俊邦さん	耕畜連携による環境保全型農業
井関 三千子さん	かき餅の加工
磯井 進さん	黒瓜の栽培と加工
杉本 賢さん	肉用牛飼育(繁殖)

## 全国茶品評会・関西茶品評会の かぶせ茶部門で 産地賞・農林水産大臣賞を W受賞

愛知県で開催された第73回全国茶品評会において、舞鶴市が産地賞、舞鶴茶生産組合の菱田繁政さんが農林水産大臣賞を受賞されました。また、京都府で開催された第72回関西茶品評会において、綾部市が産地賞、(有)両丹いきいきファーム(代表取締役 中田義孝さん)が農林水産大臣賞を受賞されました。

全国茶品評会では、中丹地域が12年連続で産地賞を受賞しており、高品質なお茶の産地として全国で評価されています。



“農薬はラベルをよく見て、安全に使用しましょう”